

# 岬町の現況（抜粋）

## 1. 人口・世帯等

## 目 次（全体構成）

: 第1回審議会（今回）提示部分

項目	区分	内容
1. 人口・世帯等	人口推移	夜間人口、昼間人口
	人口動態	自然動態、社会動態、居住期間
	世帯・就業	世帯構成、女性の就業状況、共働き世帯
2. 地域力・安全	地域力	自治区加入率
	安全	耐震、交通事故、犯罪、火災、消防、救急
3. 社会基盤等	土地利用等	土地利用
	住宅	住宅ストック、新築着工、空き家
	インフラ	道路、下水道、公園、鉄道、自動車、地価
4. 環 境	ごみ処理	ごみ排出量
	省エネルギー	住宅省エネ
5. 福 祉	共生	市民活動
	国保、介護保険	国保・介護保険
	健康・医療	健康診断、一般診療所
	高齢者福祉	高齢者世帯
	障がい者福祉	手帳取得数
6. 子ども・教育	保育、子育て支援	保育所、合計特殊出生率
	学校園	幼稚園、小学校、中学校、高等学校
7. 都市の魅力 創出・産業	生涯学習・文化	施設利用者数
	産業・雇用	事業所・従業者、商業、工業、観光、農業、漁業
8. 行財政		実質公債費比率、将来負担比率、経常収支比率 実質収支比率、財政力指数

# 1. 人口・世帯等

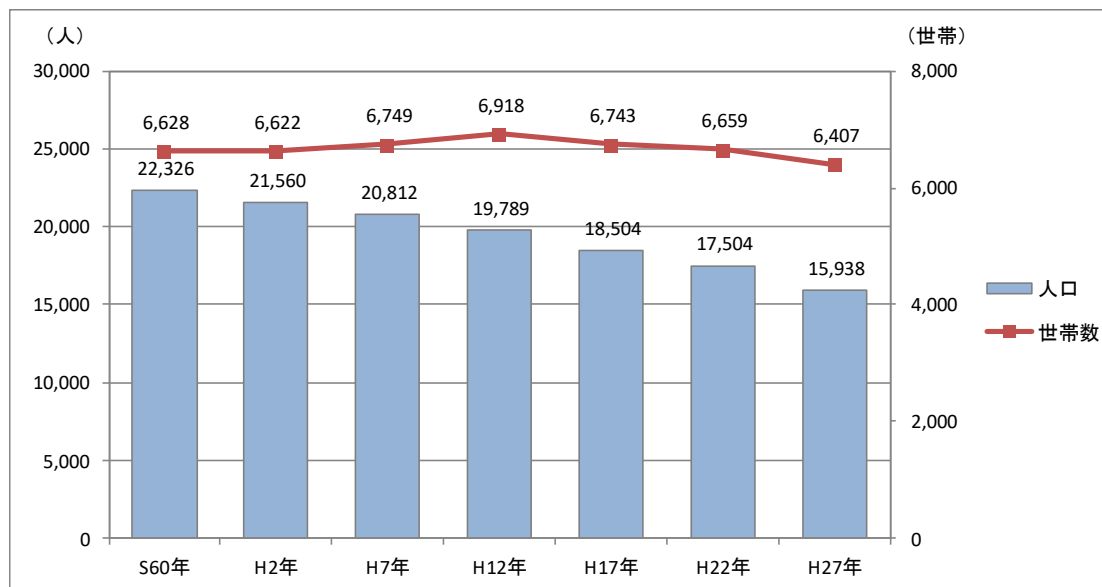
## (1) 人口推移

### ① 夜間人口

(年少人口、生産年齢人口は減少傾向)

- 総人口は減少傾向で、平成 27 年には 15,938 人となった。
- 世帯数も減少傾向にあり、平成 27 年には 6,407 世帯となった。

◆人口・世帯数の推移◆



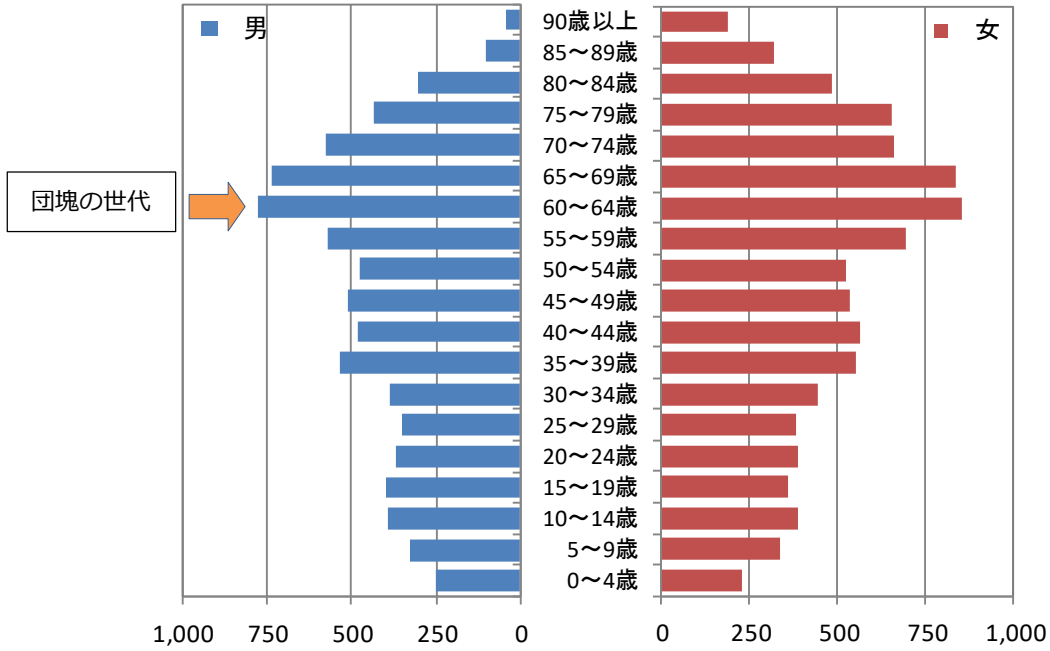
資料：国勢調査

**(多い「団塊の世代」)**

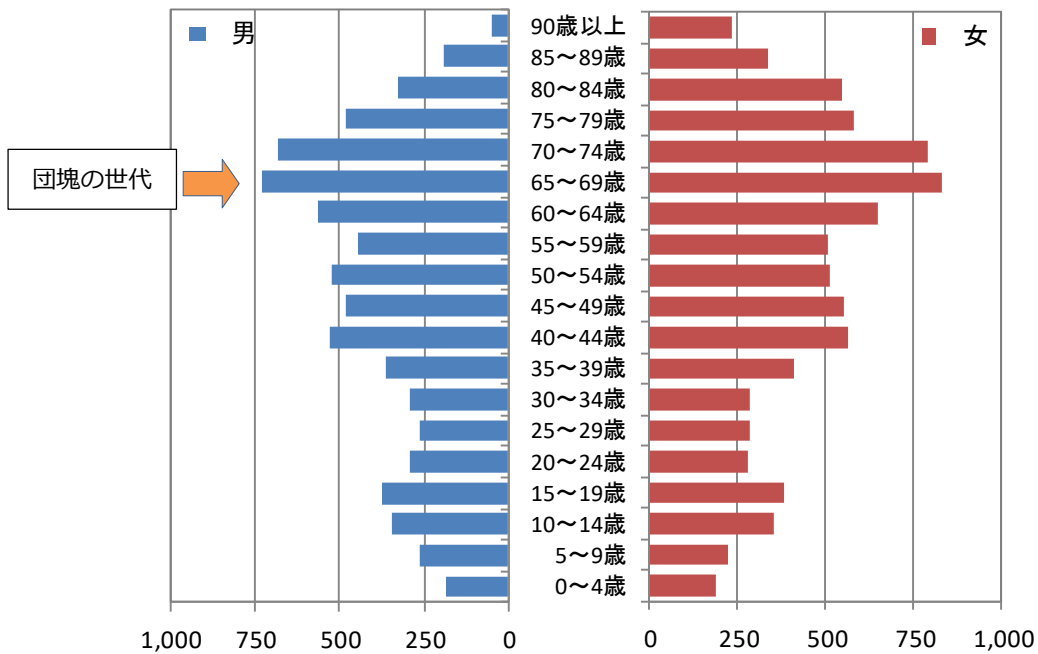
- 年齢別人口構成をみると、男性・女性ともに「団塊の世代」が最も多くなっている。

◆人口ピラミッド◆

(平成 22 年)



(平成 27 年)

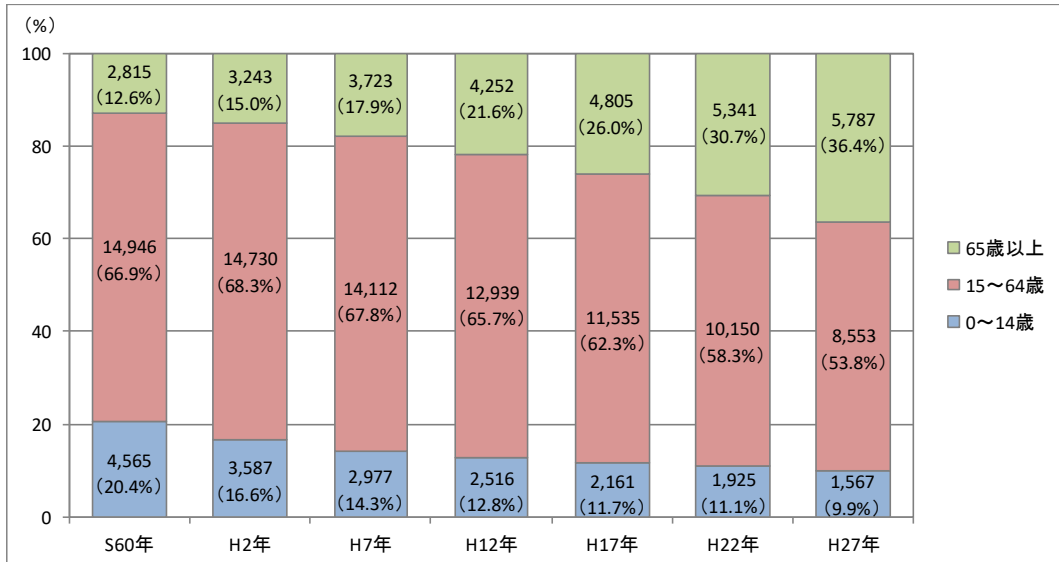


資料：国勢調査

**(減少する若年層)**

- 年齢3区分別人口構成の推移をみると、「0～14歳」の構成比は昭和60年と比較して半分以下となっている。

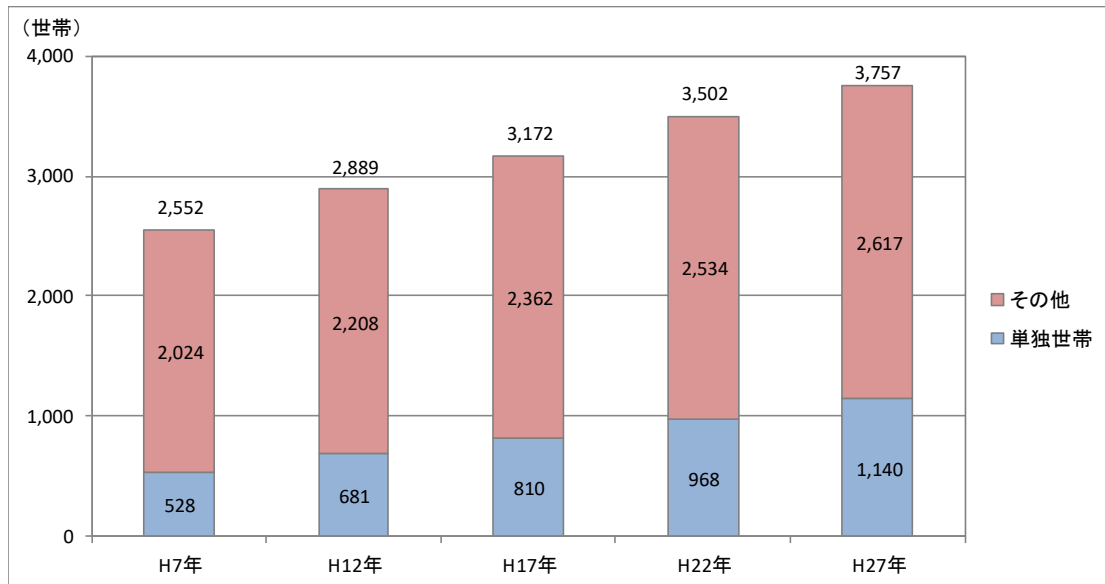
◆年齢3区分別人口の推移◆



**(65歳以上がいる世帯数は増加)**

- 65歳以上がいる世帯は増加傾向にある。

◆65歳以上がいる世帯数◆

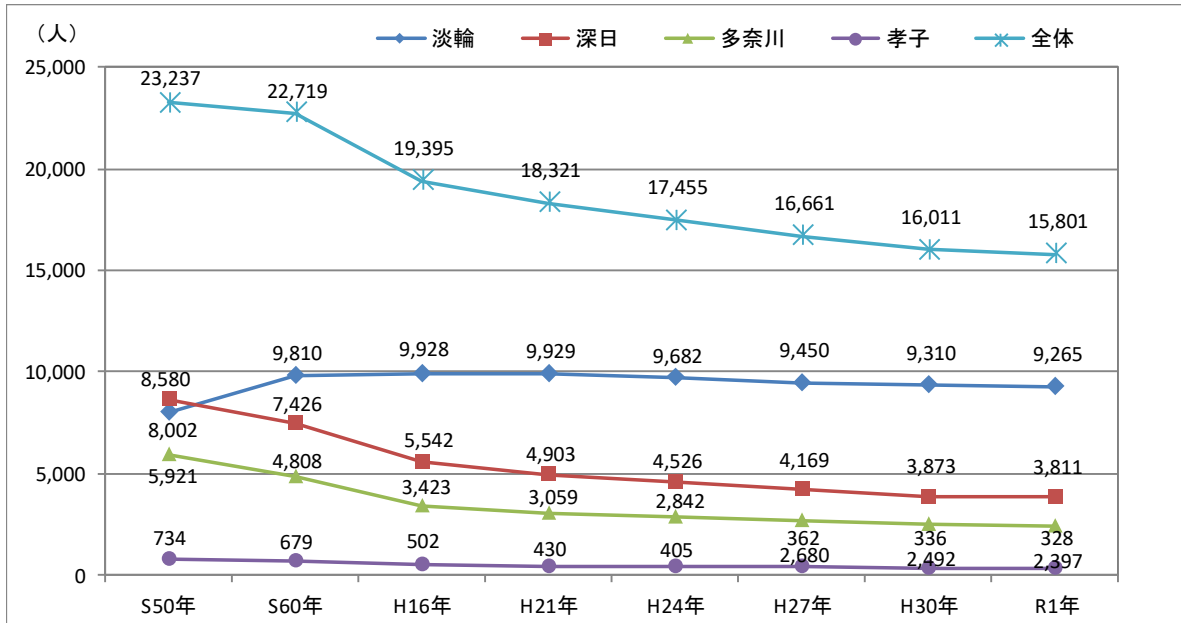


資料：国勢調査

**(深日、多奈川地域の人口は減少傾向)**

- 地域別人口の推移をみると、町全体の人口が減少傾向にある中で、深日地域、多奈川地域の人口減少が顕著となっている。

◆地域別人口の推移◆

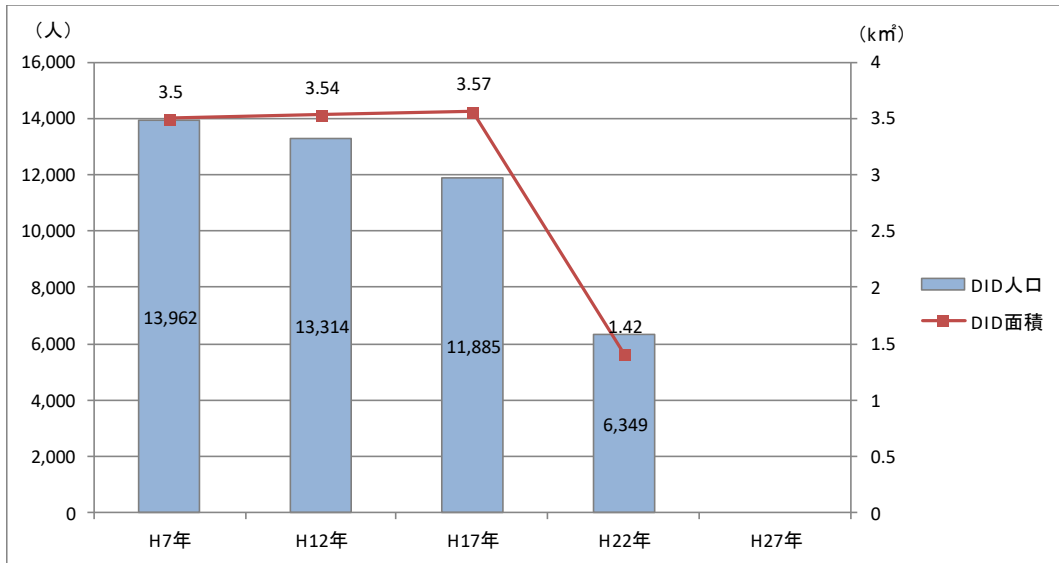


資料：岬町

**(D I D人口と面積は減少傾向)**

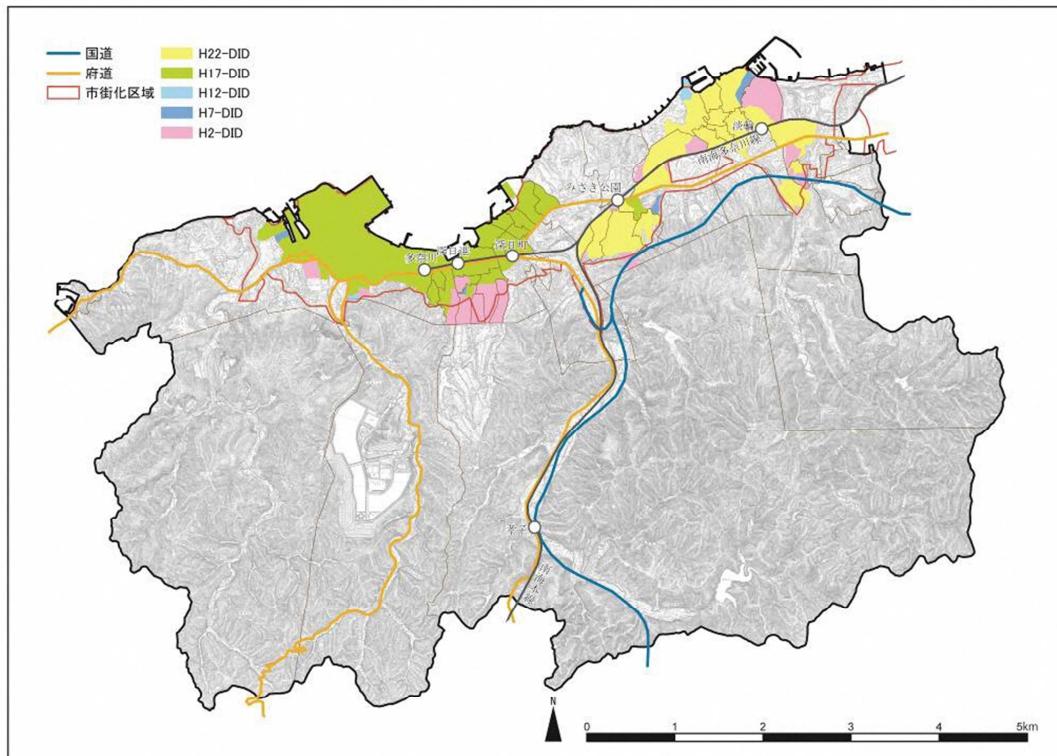
- 平成 17 年から平成 22 年にかけて、DID (人口集中地区) 人口、面積とも大きく減少し、平成 27 年には DID (人口集中地区) が無くなっている。
- DID (人口集中地区) の分布をみると、平成 17 年には深日港沿岸や府道沿線に広く分布していた西部の DID が無くなり、平成 22 年には東部のみさき公園や淡輪周辺のみとなっている。

◆DID 人口と面積の推移◆



資料：国勢調査

◆DID の分布◆



資料：国土数値情報

## ② 昼間人口

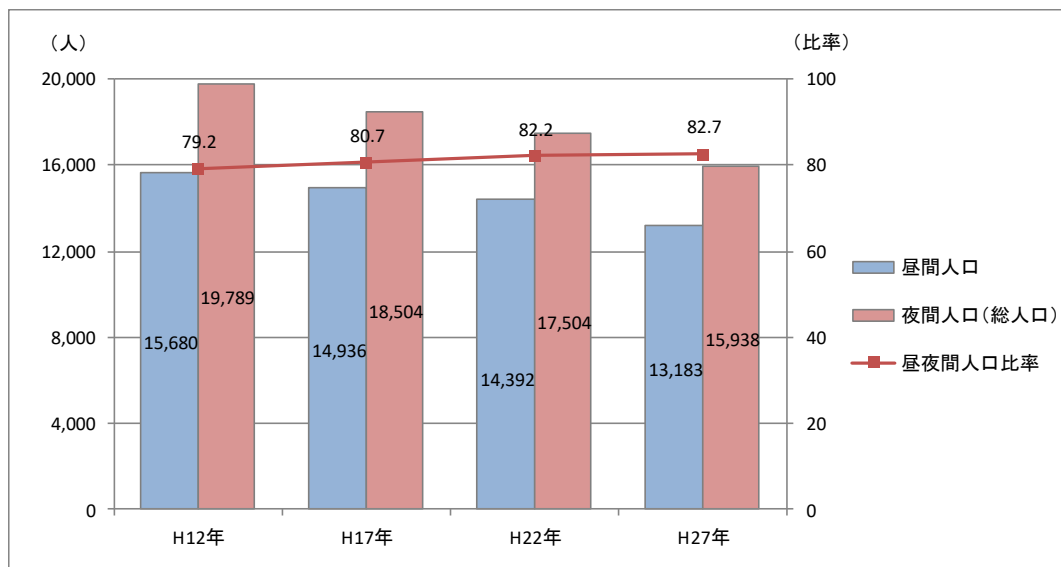
### (通勤流出により昼間人口より夜間人口が多い)

- 流出が多く、昼間人口よりも夜間人口の方が多い。昼夜間人口比率は、上昇傾向にある。

### (通勤者と通学者は流出超過)

- 通勤者、通学者共に流出超過にあり、大阪市への通勤ならびに通学する人の割合が高い。

### ◆岬町の昼夜間人口◆



資料：国勢調査

### ◆流出入人口（平成 27 年）◆

	流出							流入					
	合計		通勤者		通学者			合計		通勤者		通学者	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
自町に 常住	7,333	100.0	6,543	100.0	790	100.0	当地で 就業・通学	4,635	100.0	4,104	100.0	531	100.0
自町内で 就業・通学	2,483	33.9	2,341	35.8	142	18.0	自町内で 就業・通学	2,483	53.6	2,341	57.0	142	26.7
他市町村で 就業・通学	4,722	64.4	4,091	62.5	631	79.9	他市町村に 常住	1,974	42.6	1,609	39.2	365	68.7
大阪市	932	12.7	785	12.0	147	18.6	大阪市	45	1.0	42	1.0	3	0.6
岸和田市	210	2.9	164	2.5	46	5.8	岸和田市	151	3.3	76	1.9	75	14.1
貝塚市	183	2.5	148	2.3	35	4.4	貝塚市	135	2.9	69	1.7	66	12.4
泉佐野市	633	8.6	581	8.9	52	6.6	泉佐野市	176	3.8	115	2.8	61	11.5
泉南市	412	5.6	381	5.8	31	3.9	泉南市	204	4.4	153	3.7	51	9.6
阪南市	538	7.3	531	8.1	7	0.9	阪南市	559	12.1	501	12.2	58	10.9
熊取町	44	0.6	38	0.6	6	0.8	熊取町	45	1.0	34	0.8	11	2.1
田尻町	35	0.5	35	0.5	-	0.0	田尻町	23	0.5	14	0.3	9	1.7
和歌山市	809	11.0	738	11.3	71	9.0	和歌山市	383	8.3	383	9.3	-	0.0

資料：国勢調査（平成 27 年）



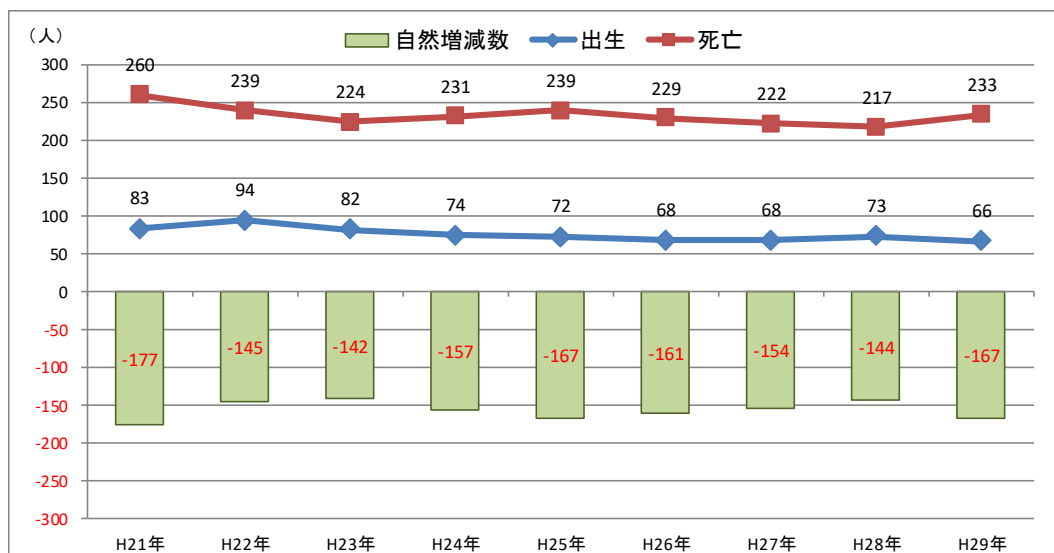
## (2) 人口動態

### ① 自然動態

(自然減が続いている)

- 死亡数が出生数を上回り、自然減が続いている。

◆自然動態の推移◆



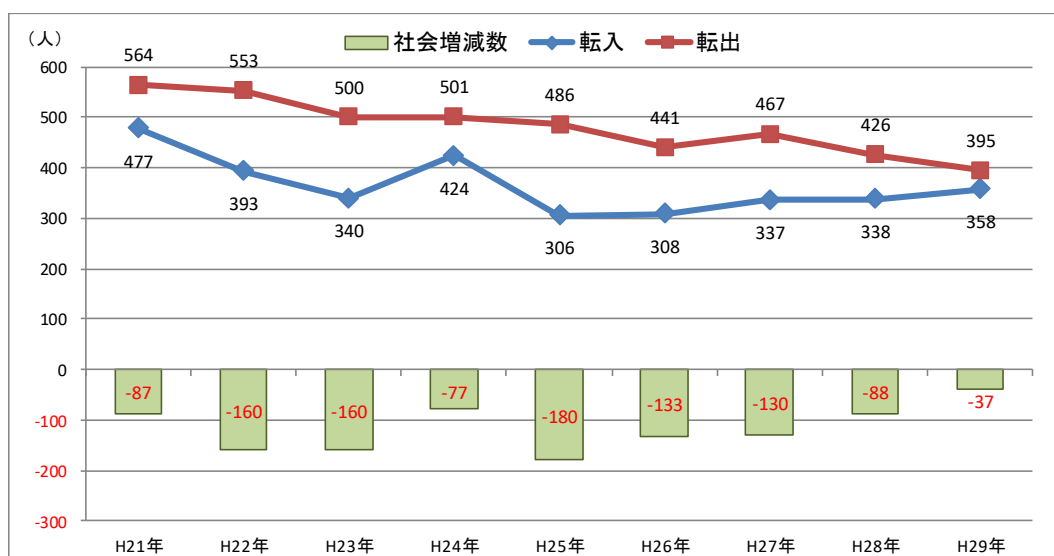
資料：大阪府人口動態調査

### ② 社会動態

(社会減が続いている)

- 平成 22 年以降社会減が続いているが、近年は社会減の幅が小さくなっている。

◆社会動態の推移◆

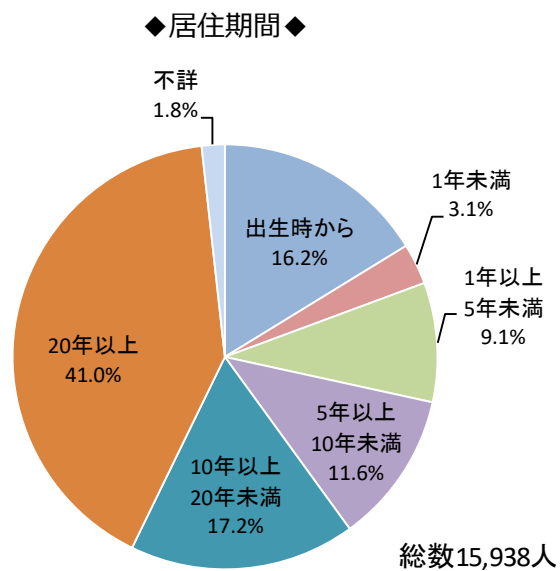


資料：住民基本台帳人口移動報告

### ③居住期間

(20年以上が41.0%、10年以上20年未満が17.2%)

- 居住期間は、「20年以上」が最も多く41.0%となっており、次いで「10年以上20年未満」で17.2%となっている。



資料：国勢調査（平成27年）

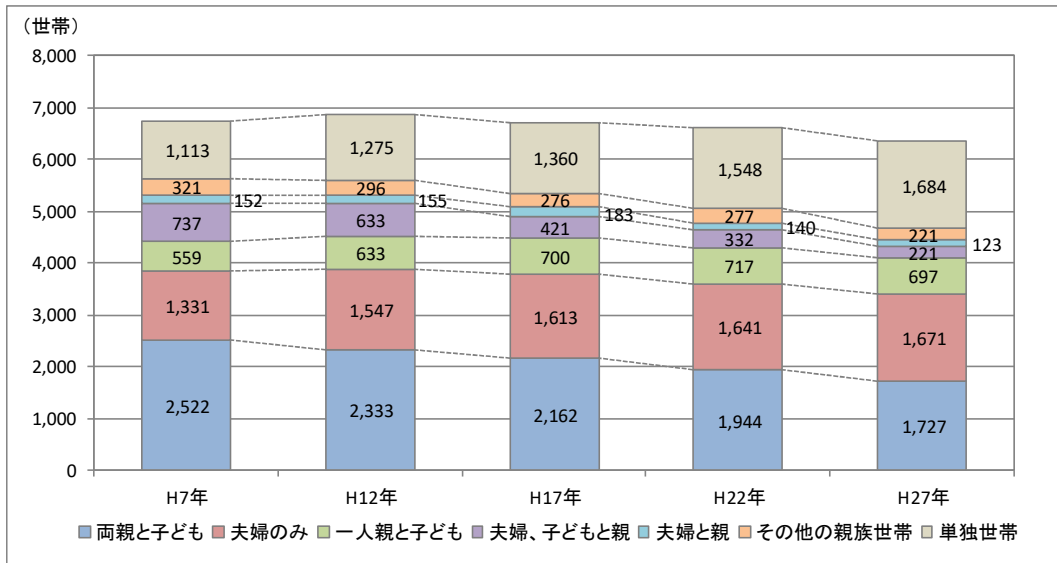
### (3) 世帯

#### ① 世帯構成

##### (単独世帯の増加)

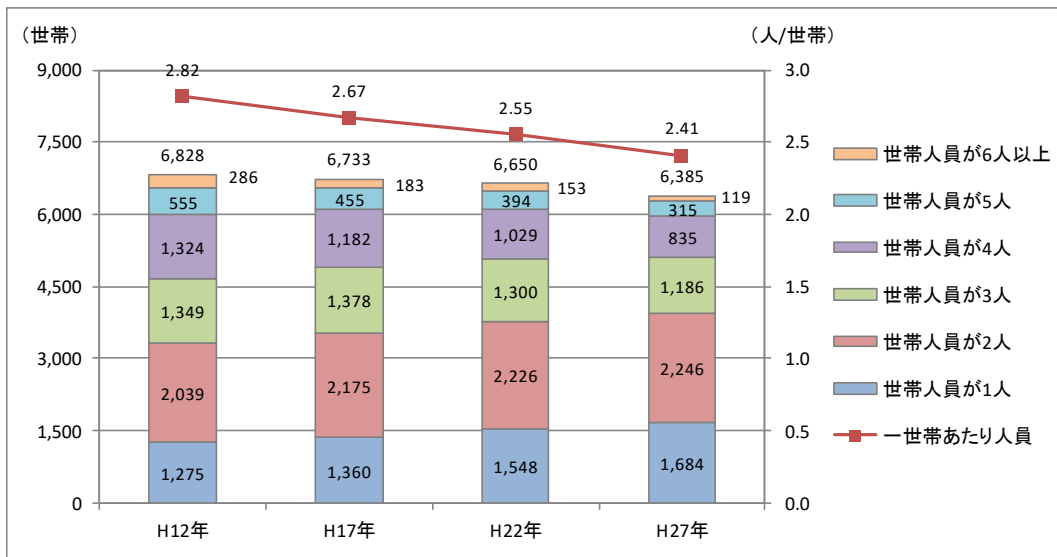
- 一般世帯数は減少傾向にあり、「両親と子ども」が大きく減少している。
- 1世帯あたり人員数は減少傾向にある。
- 単独世帯が増加傾向にあり、高齢者の単独世帯も増加している。

◆一般世帯の世帯類型（推移）◆



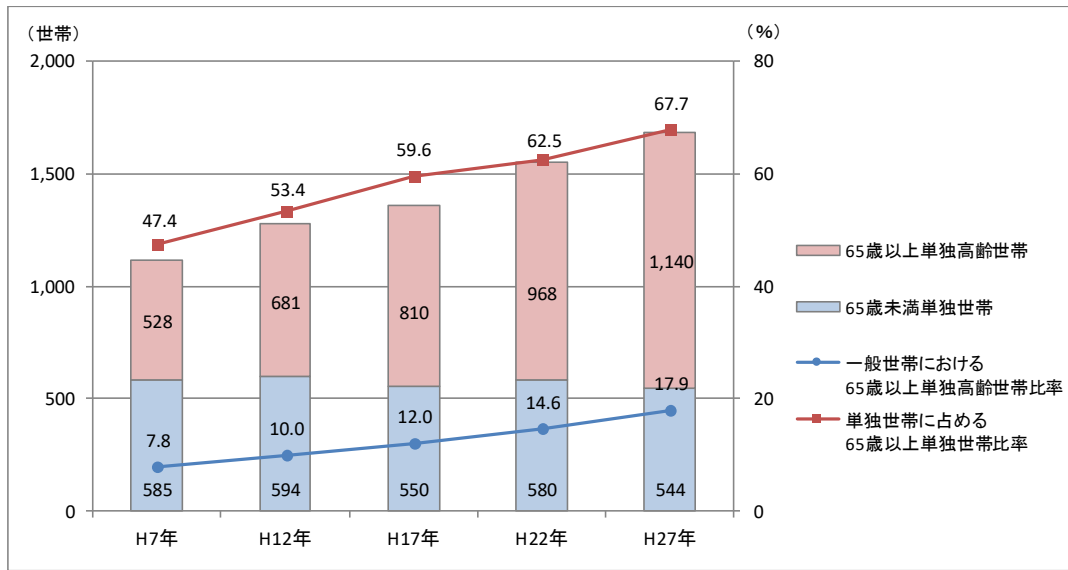
資料：国勢調査

◆世帯構成の特性（推移）◆



資料：国勢調査

◆単独世帯の特性（推移）◆



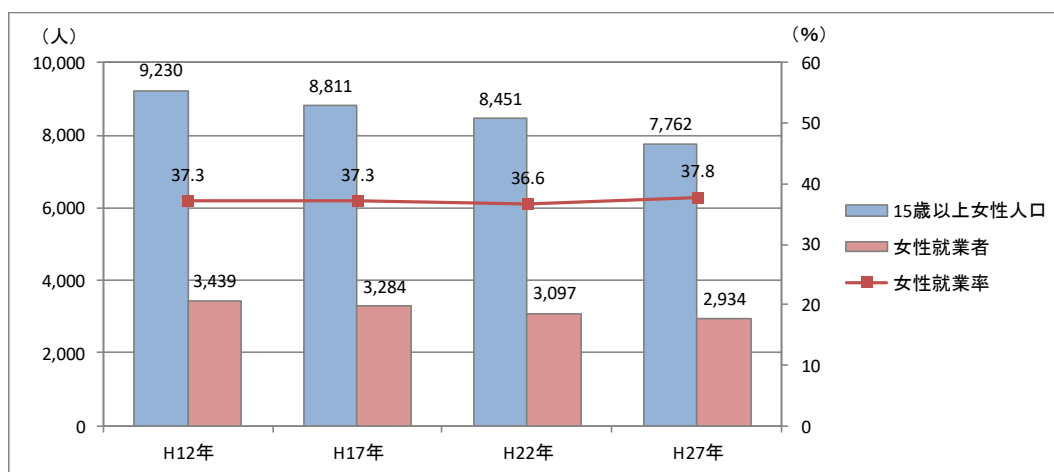
資料：国勢調査

## ② 女性の就業状況

(女性就業比率はほぼ横ばい)

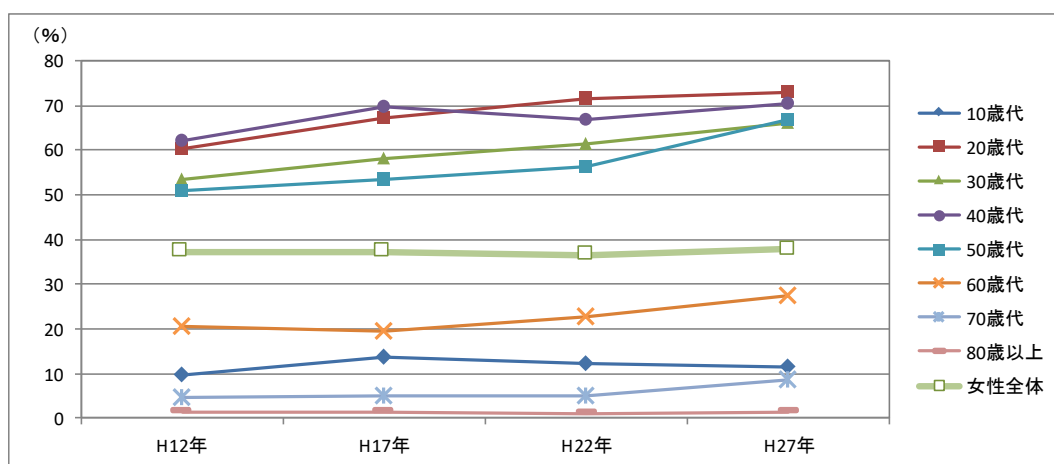
- 15歳以上の女性人口に対する女性就業者の比率は37%前後で推移している。
- 年齢別にみると、20～50歳代の就業率が女性全体を上回っている。

◆女性就業者数及び比率の推移◆



資料：国勢調査

◆年齢階級別女性の就業率の推移◆



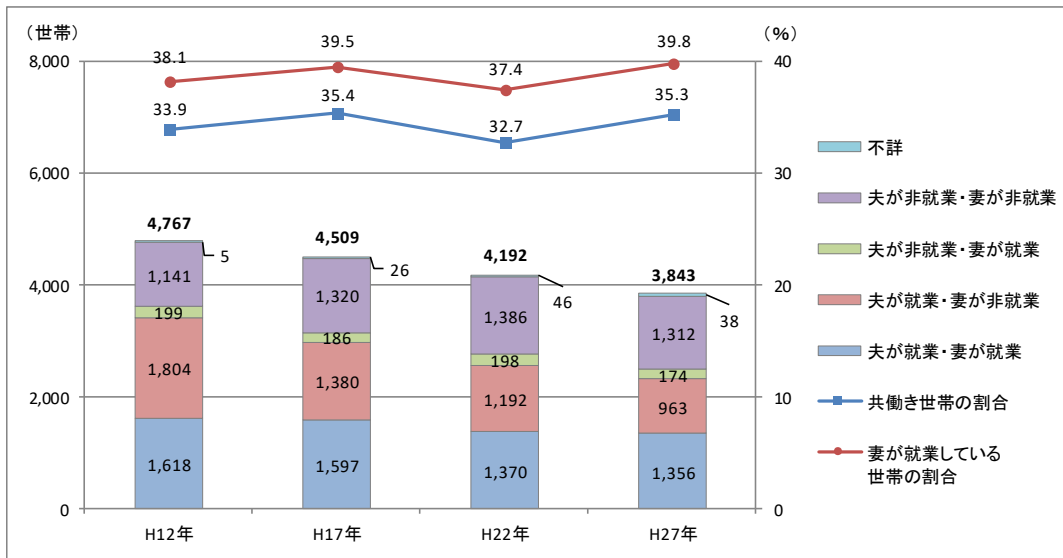
資料：国勢調査

## ② 妻の就業状況・共働き世帯

### (共働き世帯比率の増加)

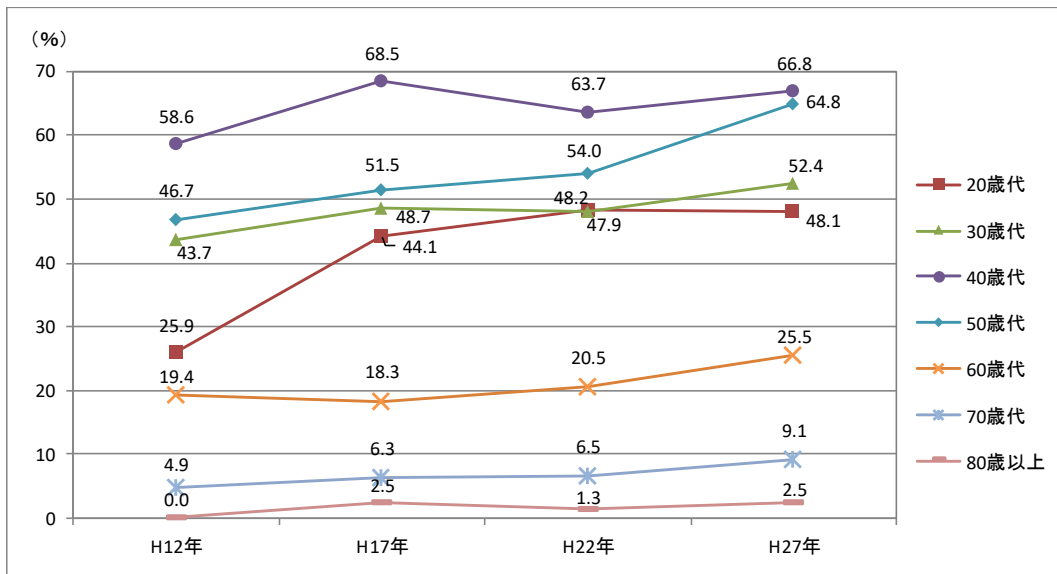
- 夫婦のいる一般世帯のうち、夫が就業している世帯では妻の非就業者は減少している。
- 共働き比率、妻の就業比率は微増で推移している。
- 妻の就業率は、20歳代を除き、平成22年よりも増加している。

#### ◆夫婦のいる一般世帯における妻の就業状況の推移◆



資料：国勢調査

#### ◆年齢層別の妻の就業率の推移◆



資料：国勢調査